

郷土紹介サイトの制作

16番 佐瀬和美

制作意図

私は自分の住む喜多方市にある文化に前々から関心をもっていました。市内には伝統的な寺院、文化、また名所となっている場所などが存在しています。また、それらを保護し、次の世代に伝えていく活動をしている方々もいます。活動をしている方にお話を伺ったところ活動をするうえで最も困っていることは「知識をもった人材」が不足しているとのことでした。そこで、郷土紹介サイトを制作し関心を持ち知ってもらうことを目的としました。また、若い世代の方で自分の郷土になにがあるのかを知らないまま進学などで離れてしまうことがあると思います。そのような方も含め特に若い世代の方に身近にも素晴らしいものがあることを知ってもらいたいと考えています。

方法

Webサイトとして制作

次のような理由があげられます

- 1 Flashのサイト制作に興味があったこと。短大で学んだ知識をいかしたかったこと。
- 2 情報をデジタル化することにより、情報量を多くすることが出来ること。
- 3 紙面では表現しきれない方法（映像、音など）が可能なので見る人の関心が高まる、ダイレクトに伝わるのではないかと考えたこと。

デザインコンセプト

若い世代（10代～20代前半）をメインターゲットに考えているのでPOPな配色をしました。また、ナビゲーション部分に項目と関連したイラストを対応させて分かりやすく、興味のそそられるデザインにしました。

制作過程

市内の調査・資料収集

サイトに掲載予定の場所の写真撮影・インタビュー

サイトデザインの思案・決定

制作

完成

考察

文化的資料をデジタル・アーカイブ化することによって資料の劣化を気にせずに、世代をこえて多くの人に伝えることができます。デジタル・アーカイブ化したものをwebなどの情報媒体に伝達することによって広範囲に住む人々に情報を伝えることができるので、郷土についてのサイトを作ることに興味を持つ人も増え地域の活性化にも繋がるのではないかと思います。

サイトを制作するにあたって、デザインの参考に多くのサイトを見ましたが、目的、用途、制作者の嗜好などによって莫大な表現方法があることを再認識しました。また、制作するなかで、紙面では表現できない方法もあり、サイト制作のおもしろさを感じました。



popな配色にしました。見たい箇所をクリックすると詳細な情報がみれます。



コンテンツ内容と関連させたイラストをつけました

熊野神社の保存会の会長さんのお話を音声と映像でご覧いただけます。



市内各地の写真をご覧いただけます。